

平成22年

11月25日  
(木)

# 若年性認知症の人と 家族の支援を考える

## 1 若年性認知症の人と家族の支援の仕組みは ～その条件とは～

午後1時15分～4時45分

くまもと県民交流館パレア 10階ホール  
(熊本市手取本町8-9)

- 【座長】 熊本学園大学社会福祉学部准教授 黒木 邦弘氏  
 【パネラー】 特定非営利活動法人たまな散歩道  
 デイサービスセンターわだち 理事長 西村 哲夫氏  
 山鹿市地域包括支援センター係長 佐藤 アキ氏  
 熊本県認知症対策・地域ケア推進課課長補佐 野尾 晴一朗氏  
 【助言者】 くまもと青明病院副院長 上田 啓司氏

認知症の人が  
生きること  
を  
地域で  
支える

## 2 認知症の人が生きることを地域で支えるとは ～まちづくりの視点から～

【講師】 社会福祉法人東翔会グループホームいあみりえ  
ホーム長 大谷 るみ子氏

ー大谷るみ子氏のプロフィールー

大牟田市の介護サービス事業者協議会認知症ケア研究会代表や地域の住民ネットワークの世話人、また福岡県高齢者グループホーム協議会会長など様々な役職を勤められており、国際アルツハイマー病協会ドイツ国際会議での報告や認知症ケア奨励賞など数々の賞を受賞されています。また2008年にはNHK「プロフェッショナル～仕事の流儀～」にもご出演されています。

入場無料

主催 熊本学園大学・やすらぎの森(認知症対応強化型)・くまもと青明病院(認知症対応強化型)

共催 認知症の人と家族の会(熊本県支部)  
複数事業所連携事業参加事業所

定員312名

後援 熊本市・熊本市社会福祉協議会  
熊本市地域包括支援センター連絡協議会  
熊本日日新聞社



電話・FAX・メールにてお申し込み下さい(裏面)



熊本市中央4地域包括支援センター  
(認知症対応強化型)

やすらぎの森

〒862-0970 熊本市渡鹿5-1-37

TEL 375-1412  
FAX 363-3363

E-mail yasuraginomori@kyouninkai.jp

# あなたと学ぶ認知症

## —若年性認知症支援体制とまちづくり—

熊本県では「熊本モデル」として、認知症対策を総合的に推進しております。特に平成22年度は、殆ど手つかずの状況であった若年性認知症の方々の支援体制づくりを始めております。

若年性認知症に対する支援策については、医療、雇用、障がい福祉サービス、介護保険サービスの4つに大別できます。これまでの調査研究から早期発見に向けた雇用環境づくり、雇用と医療が連動した早期対応、そして、今後の暮らしの設計に関わる障がい福祉サービス及び介護保険サービス利用の必要性が指摘されています。

また、若年性認知症の方の暮らしが就労中心から生活中心へのゆるやかな移行に際して、地域内で出かけていく場、活動する場の確保が必要です。こういった場の確保には、本人及び家族、そして医療や福祉の専門職だけではなく、地域の方々の理解と関わりが必要になります。そこで、高齢者のみならず、認知症の人の生きることを支える、つながりのある地域の支援がこれまで以上に大切になっています。

今回の公開講座では、若年性認知症の理解や望まれる支援体制について、また認知症の方々を地域全体で支援する大牟田市での取り組みについて、第一線の方々からお話しをお聞きします。

熊本学園大学

熊本市中央4地域包括支援センターやすらぎの森  
(認知症対応強化型)

くまもと青明病院  
(認知症疾患医療センター)

お名前	ご住所	電話番号	所属

TEL: 096-375-1412  
FAX: 096-363-3363  
E-mail: yasuraginomori@kyouninkai.jp